

右京区役所 ☎861-1101 (代表)
〒616-8511 右京区太秦下刑部町12番地
http://www.city.kyoto.lg.jp/ukyo/
区役所ホームページ、Facebook
常時更新中!
「区長の部屋」も
ぜひのぞいてみてね!



右京区役所 検索



市政情報総合案内コールセンター
京都いつでもコール

受付時間 午前8時～午後9時(年中無休)
☎ 661-3755、FAX 661-5855
電子メール (以下のホームページから)
パソコン http://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/
page/0000012821.html
携帯電話 http://www.city.kyoto.jp/koho/m/cc/



12月16日、サンサ右京に木質ペレットストーブを設置し、環境教室が開催され、約350名が参加しました。

「平成24年度新・右京区まちづくり支援制度」「支援事業活動中」
障がいのある子どもたちへの家庭支援(京都光華女子大学 光華子ども遊び隊)
この事業は、社会福祉、心理、保育を学ぶ学生が障がいをもつ子どもたちと遊び、調理、食事などを共にすることで、子どもたちの人間関係を構築することが目的です。また、学生自身が進路を考えるきっかけにもなっています。

「エコまちステーションが行く!」
右京区民、ごみ減量エコバスツアーの参加者募集。ごみの行方を探検しよう!
要申込み・参加費無料
私たちがの生活に切っても切り離せないごみ。暮らして身近なごみ問題を見つめ直し、ごみ出しマナーやごみ減量に取り組むきっかけとして、ごみ処理施設の見学会を開催します。

「第7回京北・納豆フォーラム」
「京北を納豆の里に」が開催されます
立命館大学産業社会学部と、NPO法人フロンティア協会は、「京北プロジェクト」と銘打ち、地域振興活動と大学教育のコラボによる活動に取り組んでいます。プロジェクトでは平成21年度、22年度の2年間、右京区まちづくり支援制度の助成金を得て活動を進め、23年10月には、老舗納豆メーカーと連携し、「京北りつまつ」の市販を開始。「藁」と納豆本

少するという危機に直面しています。せっかく植えた苗木も増加の一途をたどる鹿に食べられていきます。また、戦後の人工林の急増も嵐山の危機に大きく影響しています。
このような嵐山の過去・現在・未来を伝えてもらった生徒たちは「外から見るとキレイな山でも、中は荒れていることを知った」「治山事業や鹿対策などたくさん工夫で山が守られていることを初めて知った。僕たちも守っていきたい」と話しました。
地域の子とも達によって受け継がれる故郷の景色。今後、学校と地域が一体となり、ふるさとを大切にすることを守り、育んでいきたいですね。

例えば、6月頃にレクリエーションをしています。今年も子どもからお年寄りのまでが近場で遊びました。「いつも一人だけ、今日はおしゃべりしながら食べられたから嬉しかった」という一人暮らしの方の声も。
次へのつながりを作ることも町内会長の大切な役割ではないかと思っています。11月の行事では、次の世代にも頑張ってもらいたいという思いから、今年度は、若い人たちに料理を担当してもらいました。忙しい中でしたが、協力しながらやってくれました。「今度役を持ったらお互いカバーし合おうね」という話もあり、「私の思いが通じた」と嬉しく思っています。

その他、月1回の古紙回収と、毎晩夜回り活動をしています。夜回りの活動は、2、3軒が1班となりの毎日順番に回しています。大変だけど、普段接する機会が少ない方も色んなお話をしながら歩くので、町内のことを知る良い機会になっていると思います。
■大切にしていることはなんですか
一番大切なのは、町内に「人と人がつながれる、人が集える機会をつくることだ」と思っています。一歩踏み出すためには顔見知りの存在が必要なので、役員が中心となり積極的に声掛けをしています。
「組織」として力と知恵を出し合って自治会を運営していくことも重要。私一人では何もできません。役員の方や、組長、地域の方々の支えがあったからこそ、地域での付き合いが自治会を作っていくと思えます。
■どんな自治会にしていきたいですか
私自身、会長になって声を掛けられる機会が増えたいです。役員の方や組長が「大変やったけど、楽しかったな」と思える1年にしていきたいですね。以前、「ちょっと胸が苦しい、助けて」という訴えがあり、近所の人が救急車を呼ぶことがありました。私自身も、たくさんの人に支えてもらう中で、常に人とのつながりの大切さを実感しています。人と人とのつながりが、住み心地の良い安心・安全のまちづくりを生み出すのではないのでしょうか。そのつながりがずっと続くようにしたいです。



瀬戸畑町町内会 西村佐紀子会長

これまでは、「フォーラム」こぼえに学生が2回訪問。山ノ内小学校などで開催される障がいのある子どもたちの放課後地域活動「わくわくクラブ」にも参加する予定です。授業との両立が難しいですが、障がいをもつ子どもたちとのネットワークづくりや学生自身の学びの場が広がっていくことを期待しています。

6月からは、獣害で困っている高齢の方の畑で電気柵を立てを行うなど、2回の頻度で援農も実施。11月には西院デイスターで右京度100%の野菜市を開催しました。今後、「近所の一級品を、食べる」時代づくりを推進する右京ベジトラックにご期待。

嵐山はその供給源としての役割を果たすことで適正に管理されてきました。しかし、近年供給源としての必要性がなくなってきたことで、嵐山にも雑木が茂り、サクラや紅葉が減

嵐山の植生について学識者から学ぶ生徒たち

仕事を引退後、ライフワークとして地域活動に奮闘!
山ノ内学区瀬戸畑町町内会
西村町内会長は、仕事を退職してから地域の人と出会う機会が増えるようになり、人と関わることを楽しさを実感。今年初めて、15世帯が加入する町内会長に就任。町内会活動についてお話を伺いました。

自治会・町内会の
ス・テ・キ
6